

日本図書館情報学会会報

No. 133

2009年4月

日本図書館情報学会事務局

〒305-8550 茨城県つくば市春日 1-2

筑波大学大学院図書館情報メディア研究科 内

E-mail: jslis-info@slis.tsukuba.ac.jp

学会ホームページ: <http://www.soc.nii.ac.jp/jslis/>

ゆうちょ銀行 019店 口座番号 当座 0045759 (口座名義=日本図書館情報学会)

2009年度日本図書館情報学会春季研究集会 (ご案内)

会員各位

日本図書館情報学会会長
根本 彰

2009年春季研究集会を、駿河台大学飯能キャンパスにおいて、下記の要領で開催いたします。会員の皆様には奮ってご参加くださいますよう、宜しくお願いたします。

参加を希望される方は、春季研究集会事務局宛に、所定の期日までにお申込みくださいますよう、お願いたします。

記

日時: 2009年5月23日(土) 10:00~17:45

場所: 駿河台大学 飯能キャンパス (住所: 〒357-8555 埼玉県 飯能市 阿須 698)

<http://www.surugadai.ac.jp/about/campus/access.html>

最寄り駅: 西武池袋線・飯能駅からスクールバス約15分

西武池袋線・元加治駅からスクールバス約10分

JR八高線・金子駅からスクールバス約10分

*タクシーの場合には飯能駅が便利です。

参加費: 正会員 2,000円, 学生会員 1,000円, 非会員 3,000円 (※当日、受付にてお支払いください。)

参加申込締切: 2009年5月18日(月)

参加申込先: 下記の事務局まで、「氏名」、「氏名のよみ」、「所属」、「会員種別(正会員・学生会員・非会員)」、「連絡先(住所、電話番号、電子メールアドレス)」を明記の上、電子メール、もしくは、郵送にて、お申し込みください。電子メールの際は、件名に「【参加申込】」とお書きください。

〒357-8555 埼玉県飯能市阿須 698

駿河台大学メディア情報学部 金容媛研究室内

日本図書館情報学会春季研究集会事務局

電子メールアドレス: jslis_spring09@ml.keio.jp

※なお、「氏名」、「所属」については、当日配布する「研究集会参加者名簿」に記載させていただく予定です。記載に不都合がおありの際は、その旨お知らせくださいますよう、宜しくお願いたします。

「参加募集要項」,「発表要旨」については,下記のアドレスにて,ご覧いただくことができます。

http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/events_1.html

宿泊案内: 飯能駅近辺のホテルをいくつかご紹介させていただきます。宿泊をご予定の皆様は,各自,ご予約くださいますようお願いいたします。なお,飯能駅から大学までは無料スクールバスが出ておりますのでご利用ください。

飯能第一ホテル (飯能市仲町 12-15)

tel : 042-972-1212

<http://www.hanno-dh.com/>

マロウドイン飯能ビジネスホテル (飯能市双柳 105-8)

tel : 042-974-4000

<http://www.toto-motors.co.jp/marroad/hanno/>

飯能プリンスホテル (飯能市仲町 11-21)

tel : 042-975-1111

<http://www.princehotels.co.jp/hanno/>

| プログラム | | |
|-----------------|--|---|
| 開始時刻 | 第一部会 3307 教室: 講義棟[第一講義棟] 3階 | 第二部会 3306 教室: 講義棟[第一講義棟] 3階 |
| 10:00~ 10:30 | 越塚美加(学習院女子大学), 田村俊作(慶應義塾大学), 三輪眞木子(放送大学), 池谷のぞみ(Palo Alto Research Center), 齋藤誠一(千葉経済大学短期大学部), 齋藤泰則(明治大学), 河西由美子(玉川大学) 公共図書館におけるビジネス支援サービスの有用性: 日常業務遂行のために用いる利用者が持つ期待と実際の評価 | 小野寺夏生, 岩澤まり子, 辻慶太, 緑川信之, 芳鐘冬樹, 天野晃, 大谷裕, 城山泰彦, 児玉閲, 角田裕之, 山崎静香(筑波大学) 著者検索で得られた大量の論文から同名異人著者を除去する方法 |
| 10:30~ 11:00 | 江良友子(愛知淑徳大学) 公共図書館が地域に果たす役割: 自殺対策を例に | 鈴木崇史(国立情報学研究所), 河村俊太郎(東京大学), 芳鐘冬樹(筑波大学), 影浦峽(東京大学), 相澤彰子(国立情報学研究所) ネットワーク特徴量を用いた著者推定技術の向上 |
| 11:00~ 11:30 | 須賀千絵(慶應義塾大学) 英国の公共図書館政策と「地域図書館プログラム」にみる官民パートナーシップ: North Yorkshire のケース・スタディを通して | 安形輝(亜細亜大学), 安形麻理(慶應義塾大学) 部分文書出現位置からの未解読文書の真正性の判定 |
| 11:30~ 12:00 | 小泉公乃(慶應義塾大学) アメリカの図書館経営における経営戦略論: 1960年代から2000年代 | 芳鐘冬樹, 辻慶太, 小野寺夏生(筑波大学) 論文引用に影響を与える要因: 負の二項重回帰による検討 |
| 12:00~ 13:30 | 昼食 (90分) | |
| 13:30~ 14:00 | 藤間真, 志保田務, 山本順一(桃山学院大学) 大学における図書館情報学教育のあり方についての検討 | 宮田洋輔(慶應義塾大学) 目録規則改訂作業の構造: AACR2 と RDA の開発過程の比較分析 |
| 14:00~ 14:30 | 河西由美子(玉川大学), 宮原志津子(東京大学), 三輪眞木子(放送大学) アジア太平洋地域の図書館情報専門職教育におけるオーストラリアのプレゼンス: オーストラリア3大学へのインタビュー調査報告 | 谷口祥一(筑波大学) FRBR OPAC 構築に向けた著作の機械的同定法の検証: JAPAN/MARC 書誌レコードによる実験 |

| | | |
|-----------------|--|--|
| 14:30～ 15:00 | 宮原志津子(東京大学), 河西由美子(玉川大学), 三輪眞木子(放送大学) 東南アジアのLIS教育と卒業後の労働環境の現状: マレーシア・シンガポール・フィリピンにおけるインタビュー調査報告 | 原田隆史(慶應義塾大学), 大用愛子(楽天), 江藤正己(亜細亜大学) クラスター分析に基づく大学生の図書貸出利用行動の類型化 |
| 15:00～ 15:30 | 宮原俊之・齋藤泰則・三浦太郎(明治大学) 図書館情報学教育におけるeラーニング活用の実際と評価: 明治大学メディア授業におけるアンケート調査などを通して | 辻慶太(筑波大学), 榎原衣恵(ビックカメラ), 木川田朱美(筑波大学) Q&Aサイトと公共図書館レファレンスサービスの質問回答力比較: 正答率を中心として |
| 15:30～ 15:45 | 休憩(15分) | |
| 15:45～ 16:15 | ユンユラ(筑波大学) 韓国における司書教師の読書指導に対する役割及び力量 | 松崎博子(筑波大学) ウェスタン・リザーブ大学ライブラリー・スクールの歴史 1953-63年 |
| 16:15～ 16:45 | 松田ユリ子, 今井福司, 金昭英, 根本彰(東京大学) 現行学習指導要領における探究型学習の現状分析: 学校図書館とのかかわりから | 中島正道(日本大学), 中島めぐみ(農林水産省農林水産研究情報総合センター), 佐藤奨平(日本大学) 新渡戸稲造『武士道(英文初版)』書誌事項混乱経緯の一解釈 |
| 16:45～ 17:15 | 金昭英(東京大学) 小学校学習指導要領の変遷からみた学校図書館 | 榎原真奈美, 野添篤毅(愛知淑徳大学) 特定医薬品スタチンに関する臨床試験論文の結果と資金源との関連 |
| 17:15～ 17:45 | 近藤友子(大阪市立大学) 視覚障害者サービスにおける音訳者とは何か: 音訳者の視点からの考察 | |

*所属の表示は, 教職員(常勤/非常勤)・院生・学部生等を問わず, 「大学(短大)」のみとしてあります。

研究助成金の公募

本学会では, 図書館情報学振興のために, 会員が自発的に計画した研究調査の遂行ならびにその結果の取りまとめに要する経費の一部を助成する事業を実施しています。今年度は次の要領で募集を行います。ふるってご応募ください。

記

1. 助成額

総額 10 万円を限度として, 1 件ないし 2 件に交付予定。

2. 応募条件

- a. 本学会の個人会員が, 個人もしくはグループで行う研究であること。ただし, グループ研究の場合, 研究代表者が個人会員であれば, 研究分担者が会員である必要はない。なお, 科研費等の公的研究助成の取得が難しい場合を配慮するので, 例えば「大学院生であるため科研費の応募資格がない」などの事情があれば, 申込書の所定欄に記入すること。
- b. 2010 年 3 月末までに研究を終了させていること。
- c. 2010 年 3 月 31 日までに所定の用紙によって「研究成果報告書」および「会計報告書」を提出すること。ただし, 領収書の提出は不要である。
- d. 研究終了後 3 年以内(2013 年 3 月まで)に『日本図書館情報学会誌』に原著論文として投稿すること。

3. 選考

「研究費助成申込書」に基づいて研究委員会が選考する。結果は応募者に直接通知するとともに, 会報

に掲載する。

4. 応募方法

別紙「2009年度図書館情報学会研究費助成申込書」に必要事項を記入の上、下記の宛先に郵便または電子メールで送付すること。申込書は学会ホームページからMS-WordファイルおよびPDFファイルで入手可能である。電子メールの場合は、添付ファイルで送付すること。電子ファイルでの提出が望ましい。

《郵送先》

〒108-8345 東京都 港区 三田 2-15-45

慶應義塾大学 文学部 岸田和明 気付

日本図書館情報学会 研究委員会

《電子メール》 kishida@slis.keio.ac.jp

《研究助成ウェブページ》 http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/aboutjslis_3.html

5. 応募締切

2009年6月1日（月）必着

2009年度 日本図書館情報学会研究費助成申込書

年 月 日提出

| | | | | | | | |
|--|---|-------|---------------------------------------|-------------------------|------|----|-----|
| 研究代表者 | ふりがな 氏名 | 所属 | | 会員種別 正会員 学生会員 | | | |
| 連絡先 | 〒 ----- TEL FAX E-mail | | | | | | |
| 研究分担者 (共同研究の場合のみ、研究代表者以外を記入すること) | ふりがな 氏名 | 所属 | 役割分担 (研究の実施計画に対する分担事項等を具体的に記入してください。) | | | | |
| 研究題目 | | | | | | | |
| 申請金額 | 円 (限度額 10 万円) | | | | | | |
| 内訳 (円) | 資料購入費 | 機器購入費 | 印刷複写費 | 旅費 | 消耗品費 | 謝金 | その他 |
| 研究の目的 (この研究助成を希望することによって、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入してください。) | | | | | | | |

研究の意義 (この研究の学術的な特色・独創性および期待される成果等について、具体的に記入してください。)

研究の実施計画

(研究目的を達成するための計画・方法について、①これまでの準備状況②本研究助成金との関連性、の二点を含めて具体的に記入してください。)

研究成果の発表時期 (方法)

特記事項 (※例えば「大学院生であるため科研費の応募資格がない」等、この助成が必要な特別の事情などがあれば、記入してください)

学会賞及び学会奨励賞候補の募集

2009年度の日本図書館情報学会賞及び奨励賞の候補を下記のとおり、募集します。会員各位からの応募もしくは推薦をお願いいたします。

記

1. 賞の種類

- (1) 日本図書館情報学会賞ならびに副賞賞金
- (2) 日本図書館情報学会奨励賞ならびに副賞賞金

2. 選考対象者

- (1) 日本図書館情報学会賞 本学会の正会員
- (2) 日本図書館情報学会奨励賞 本学会の正会員・学生会員

3. 選考対象業績

(1) 日本図書館情報学会賞

正会員によって2007年度もしくは2008年度に日本語もしくは英語で発表された図書および論文

(2) 日本図書館情報学会奨励賞

- a. 『日本図書館情報学会誌』第54巻第2号から第55巻第1号までに収載された、本学会正会員もしくは学生会員による論文。
- b. その他の研究業績については、本学会正会員により推薦されたもの。

4. 選考

学会賞選考委員会において審査し、理事会の承認を得て決定する。

5. 授賞

2009年度臨時総会において授賞式を行う。

6. 応募・推薦方法

以下の事項を記載した「学会賞(奨励賞) 応募(推薦)用紙」(所定の書式はないが、A4判横書きが望ましい)を7月15日(水)までに必着で郵送すること。なお、応募者・推薦者は非公開とする。

- a. 著者名
- b. 著作名(書名, 論題名, 等)
- c. 出版社/収録雑誌名・巻・号・頁
- d. 応募(推薦)者連絡先
- e. 応募・推薦理由

7. 郵送先: 〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45

慶應義塾大学文学部 糸賀雅児 気付
日本図書館情報学会賞選考委員会

各委員会・事務局から

『日本図書館情報学会誌』投稿先について

『日本図書館情報学会誌』の投稿先・連絡先は以下の通りです。投稿は随時受け付けています。

〒305-8550
茨城県 つくば市 春日 1-2
筑波大学 大学院 図書館情報メディア研究科
吉田右子 研究室 気付
日本図書館情報学会 編集委員会
連絡先 : yyoshida@slis.tsukuba.ac.jp

なお、2009年4月1日に学会誌投稿規程が改訂されました。新しい投稿規程については、『日本図書館情報学会誌』Vol. 54, No. 4に掲載されたほか、以下のURLにも掲載しています。投稿される際は必ずご確認ください。http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/journal/c_reg_081010.pdf

2008年度までの会費納入のお願い

2008年度までの会費未納の方は、すみやかに会費を納入ください。

下記、振り込み先まで、振り込みください。

【振り込み先】 ゆうちょ銀行 019 店 口座番号 当座 0045759 (口座名義=日本図書館情報学会)

会員情報の変更について

住所、電話番号、所属先、メールアドレス、会員種別等の変更については、学会ウェブサイトの「会員情報変更申請書」(下記 URL からダウンロード可能)にご記入いただき、事務局までメールでお送りください。

会員情報変更申請書について : http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/membership_3.html

会員情報に関する問い合わせ先 : jslis-info@slis.tsukuba.ac.jp

退会について

退会については特に書式はございませんので、メールもしくは郵送にてご連絡ください。2008 年度末の退会届け出は、2009 年 5 月 31 日が締め切りです。2008 年度までの会費はお支払いください。

メールマガジンについて

総務委員会では、メールマガジンを発行しています。本学会、ならびに、他団体等からのお知らせのうち、速報性が重視されるものや、会報でご案内できないものを主な内容とし、随時発行しています。掲載・講読希望の方は、jslis-info@slis.tsukuba.ac.jp まで電子メールにて、ご連絡ください。

事務局受領資料について

- ・指宿信編『法情報サービスと図書館の役割』勉誠出版、2009年3月
- ・藤谷幸弘『公共図書館の利用をめぐる評価』あるむ、2008年12月
- ・河井弘志『図書選択論の視界』日本図書館協会、2009年3月

※会員の皆様が図書館情報学関係の著作を刊行された際には、可能であれば事務局まで1部お送りいただければ幸いです。書評対象文献の選定、ならびに、学会賞選考の際の参考とさせていただきます。

関連行事のお知らせ

情報メディア学会第8回研究大会のお知らせ

情報メディア学会では「学術情報資源の活用と未来」を基調テーマに、以下のとおり研究大会を開催します。非会員の方でもご参加できますので、ご関心のある方は是非お申し込み下さい。

- ◆基調テーマ：学術情報資源の活用と未来
- ◆日時：2009年6月27日(土) 9:50~18:30
- ◆会場：科学技術振興機構(JST) 東京本部

〒102-8666 東京都千代田区四番町5-3 サイエンスプラザ B1 ホール

◆参加費 会員 1,000 円、非会員 1,500 円（資料代を含む）、懇親会参加費 4,000 円

◆プログラム概要

- ・基調講演：小野寺夏生氏（筑波大学）
- ・特別講演：岡本真氏（ACADEMIC RESOURCE GUIDE）
- ・プロダクトレビュー：展示紹介
- ・ポスター発表ライトニングトーク（ポスター発表者による概要紹介）
- ・総会・展示出展者による報告・ポスター紹介・懇親会

◆参加申し込み方法

ご氏名、ご所属、電子メールアドレスを明記のうえ、2009年6月22日（月）までに、FAX または電子メールにて本会事務局までお申し込み下さい。当日受付も行いますが、配布資料の事前準備の関係上なるべく事前のお申込をお願い致します。

◆申し込み先・問い合わせ先

情報メディア学会事務局

〒305-8550 つくば市春日 1-2 筑波大学大学院図書館情報メディア研究科内

e-mail : office@jsims.jp Fax : 020-4623-1228

最新情報は、学会ウェブサイト<<http://www.jsims.jp/>>をご覧ください。

お し ら せ

平成 22 年度採用分特別研究員の募集

独立行政法人日本学術振興会では「特別研究員」および「特別研究員 RPD—出産・育児による研究中断者への復帰支援フェローシップ—」を公募しています。募集要項及び申請書様式は下記のウェブサイトをご覧ください。<http://www.jsps.go.jp/j-pd/index.html>